

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-----------------|------------|--------------|
| 事業所番号 | 2090100674 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 治敬会 | | |
| 事業所名 | グループホーム愛ランドわたうち | | |
| 所在地 | 長野市若穂綿内8505-1 | | |
| 自己評価作成日 | 令和 6年 3月 23日 | 評価結果市町村受理日 | 令和 6年 4月 15日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2090100674-00&ServiceCd=320&Type=search |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|---------------|--|--|
| 評価機関名 | コスモプランニング有限会社 | | |
| 所在地 | 長野市松岡1丁目35番5号 | | |
| 訪問調査日 | 令和 6年 3月 5日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所理念を元に各ユニットごとにスローガンがあり職員はそれに基づいて日々仕事をしている。利用者様の個々の能力に応じた日常生活が送れるように利用者様に係る時間を大切にしたりゆったりした時間が過ごせるよう心がけています。コロナ禍の中、ご家族との面会が使用できない状態が続いています。施設ではオンライン面会が出来る体制を整えており、タブレットを使用して面会ができるようになっています。外出もできない状態ですが利用者様と昼食作り、おやつ作りなどを企画し、季節に沿った行事(豆まき、夏祭り、運動会など)施設内でも楽しんでいただけるよう工夫しています。また全体会議では職員からの要望や意見を聞く時間を設け働きやすい職場になるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

新潟市から松本市に至る国道403号線の中野市から千曲市稲荷山までの区間は旧「谷街道」と呼ばれ中世から地域の主要道路であった。その風情ある街並みの、国道沿いに開設から9年目を迎えた当ホームがある。「住み慣れた地で、生きることのすばらしさをみんなで実感しあい、生まれてきてよかったと思える人生を提供する」という理念に沿い、利用者一人ひとりの自主性を尊重しながらその幸福を願い、日々、楽しく過ごしていただけるように職員が支援に当たっている。新型コロナ禍が長引いていたが、現在、家族の面会については、事前に予約をいただき、相談室で20分から30分間、2~3人ほどを目安に対面で実施している。月に2回ほど来訪する家族もあり、利用者と家族との意思疎通が図られている。また、遠方の家族とリモートで面談している利用者もいる。新型コロナの感染拡大中も利用者にストレスがたまることのないようにホーム内でのレクリエーションに力を入れ、職員が様々な企画を立て充実したものとし、現在も継続している。季節に合わせて、正月、2月の節分、4月の花見、6月の運動会、8月の夏祭り、9月の敬老祭、12月のクリスマス会などの行事を行い、生活にメリハリをつけている。加えて、外出についても人出の少ない時間や場所を選び、1~2名ずつの少人数に分かれて春の花見から秋の菊花展や紅葉見物まで、近所の公園、お寺などにドライブを兼ねて外出し、気分転換を図っている。当ホームの開設から在籍していた利用者が自宅へ戻られたというケースがあるといい、入居から退居までの間、状態を維持し続けられたことは当ホームの「可能な限り、居宅における生活への復帰を念頭に置いて、自立した日常生活ができるように支援する」という運営方針を、職員が具体的に、また、熱心に実践していることに起因するのではないかと考えた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当する項目に○印 |
|---|--|--|--|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |